

2026 年 10 月 15 日  
セコム医療システム株式会社

## **三重大大学と高血圧重症化予防に向けた共同研究を開始 ～PHR アプリ「ハートサイン」を活用し、従業員の継続的な血圧管理を支援～**

セコム医療システム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小松 淳、以下「セコム医療システム」）は、国立大学法人三重大大学（研究代表者：土肥 薫・大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科 学）と共同研究契約を締結し、循環器病・生活習慣病管理アプリを用いた健康経営に関する研究（以下「本研究」）を 2026 年秋より開始します。

セコム医療システムでは、社員一人ひとりが健康で生き活きと働き続けられる環境づくりを目指して健康経営を推進しており、本研究もその取り組みの一環として実施します。

本研究ではセコム医療システムの社員のうち、健康診断等で血圧が高いと指摘された社員などを対象に、日常生活の中で血圧や生活習慣を継続的に記録・確認することによる健康維持・増進への効果や、循環器病・生活習慣病管理 PHR（Personal Health Record）アプリ「ハートサイン」を活用した血圧管理の継続性・有用性を検証します。

また、アプリの利用状況やデータの推移に応じた段階的なリマインドを組み合わせ、日常生活における継続的なセルフマネジメントを支援します。平均収縮期血圧および平均拡張期血圧の変化を主要な評価項目とし、アプリの利用定着率、ヘルスリテラシー、健康行動、労働パフォーマンスなどについても多面的に評価します。

本研究で得られる知見や参加者の声を活かし、将来的には、働く人の健康を継続的に支援する新たなヘルスケアサービスの開発・事業化につなげることを目指します。

### **・共同研究の背景**

高血圧をはじめとする生活習慣病のリスクを早期に把握するうえで、企業における健康診断は重要な機会です。一方、健康診断で血圧高値を指摘されても、その後、家庭での血圧測定や生活習慣の改善、必要に応じた医療機関への受診などを継続することは容易ではありません。また、年に一度の健康診断だけでは、日々変化する血圧を継続的に把握することには限界があります。

セコム医療システムは、「社業の発展と社員の健康増進は一体不可分」という考え方のもと、社員の健康管理と働きやすい職場づくりを推進しており、2020 年より「健康経営優良法人」に継続して認定され、「健康経営優良法人（ホワイト 500）」には 5 年連続、通算 6 回認定されています。

健康経営の取り組みの中では、健康診断の実施にとどまらず、実施後のフォローや生活習慣病の発症・重症化予防など、社員の継続的な健康管理を支援することも重要な取り組みの一つとしています。

また、セコム医療システムの事業領域である医療、介護、健康・予防、ICT の各分野で培ってきた知見を活かし、企業や健康保険組合向けにも、保健指導や生活習慣病の重症化予防など、従業員の健康増進を支援するサービスを提供しています。

今回の共同研究では、自社の健康経営の取り組みと、事業を通じて培ってきた知見・ノウハウに、三重大学の循環器領域における医学的知見を組み合わせ、日常生活において無理なく継続できる新たな血压管理のあり方を検証します。

### ・本研究で取り組むこと

本研究では、「ハートサイン」を活用し、主に以下の3つの観点から、職域における PHR を活用した高血圧管理の有用性を検証します。

#### 1. 日常生活での血圧・生活習慣のセルフモニタリング

本研究参加者は、自宅などで測定した血圧等の健康情報を「ハートサイン」に記録します。

また、食事や運動などの生活習慣についてセルフチェックを行い、自身の健康状態や行動を日常的に振り返ります。

健康診断時の一時点のデータだけでなく、日常生活の中で蓄積される PHR を活用することで、参加者自身が健康状態の変化を把握しやすくすることを目指します。

#### 2. デジタルを活用した健康行動の継続支援

健康管理アプリは、導入するだけでは継続的な利用につながらない場合があります。

本研究では、アプリの利用状況や血圧の推移などに応じて段階的なリマインドを行い、血圧測定や生活習慣の振り返りなどの健康行動を継続できる仕組みについて検証します。

また、記録された血圧や自覚症状などから体調変化のサインを表示し、必要な場合には適切な受診につなげます。

#### 3. 血圧だけでなく「働く人の健康」への影響を評価

平均収縮期血圧および平均拡張期血圧の変化を主要な評価項目として検証します。

加えて、アプリの利用率・利用定着率、ヘルスリテラシー、健康行動の変化、労働パフォーマンスなどについても評価し、PHR を活用した健康支援が実際の職域で受け入れられ、継続的に活用できる仕組みとなり得るかを多面的に検証します。

### ・本研究の意義

本研究では、自社社員を対象に PHR アプリを活用した血圧管理の有用性や継続性を検証し、「健康診断でリスクに気づく」ことから「日常生活の中で健康行動を続ける」ことまでを切れ目なく支援する仕組みの構築を目指します。また、本研究を通じて得られた知見を、自社の健康経営における健康支援のさ

らなる充実につなげるとともに、企業における生活習慣病の発症・重症化予防に資する新たな健康支援モデルの検討に活かしていきます。

#### ・今後の展開

本研究を通じて、PHR アプリを活用した血圧管理による健康維持・増進への効果、利用の継続性、職域における実現可能性などを検証します。

一定の有用性と実現可能性が確認された場合には、研究で得られた知見や参加者の声を活かし、企業や健康保険組合などにおいて、健康診断データと日常の PHR をつなぎ、一人ひとりの継続的な健康管理を支援する新たなサービスモデルの開発・事業化を検討します。

セコム医療システムは今後も、自社の健康経営の推進とともに、医療、介護、健康・予防、ICT の各分野で培ってきた知見を活かし、働く人の生活習慣病の発症・重症化予防と、企業の健康経営を支援する新たなヘルスケアサービスの創出を目指してまいります。

#### ■問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

セコム医療システム株式会社

企画本部 担当：福井

TEL：03-5775-8150